

【工夫のポイント】

- 安定した用水供給により、高値で取引される2LやL16(レタス)が増加するなど、**高品質な農作物生産**を実現し、営農の安定化に貢献。
- **市況を把握し、速やかに情報共有を図り、最適な市場出荷体制を整備。積極的なPR活動**など、村をあげた体制構築によって、日本屈指の生産地形成や**ブランド確立に成功**。

畑地かんがいによる営農の安定化と高品質な農作物の生産

川上村のほぼ全域(村内農地の約8割)で畑地かんがい施設を整備することで、**安定的な用水供給**と**効率的な営農**が可能となった。これにより、急速にレタスの栽培面積が拡大。



基盤整備
(S40年～H28年)

【整備前】

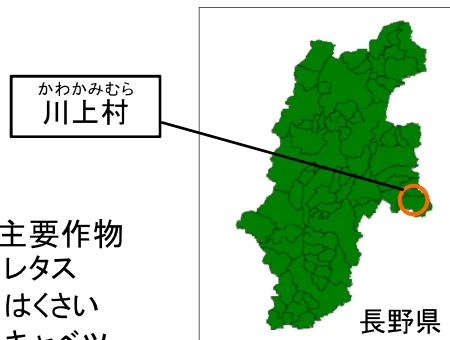
畑地かんがい施設が未整備で、天候の影響を受けやすく、**生産量や品質が不安定**であった。

また、排水路や農道が未整備であったため、**冠水被害や集出荷時の荷痛み**等に悩まされていた。



【取組地域の概要】

- 位置 かわかみむら
長野県川上村 (振興山村、急傾斜地帯)



- 主要作物
レタス
はくさい
キャベツ

- 主な支援施策
 - ・県営開拓パイロット事業(S40～S43)
 - ・県営農地開発事業(S47～H5)
 - ・畑地帯総合整備事業(H6～H28)
 - ・ふるさと農道緊急整備事業(H8～H15)
 - ・田園地域マルチメディアモデル整備事業(H10～H12)

生産現場

朝採れ野菜を新鮮な状態で市場に輸送

- 夏場でも冷涼な気候を活かし市場のシェアを獲得。さらに、真空予冷施設で素早く冷却し保冷庫に入れて**温度管理を徹底**することで、早朝に収穫したレタスを**鮮度を保持したまま市場に輸送**。



情報ネットワークの整備や輸出の取組 農産物のPRによるブランド確立

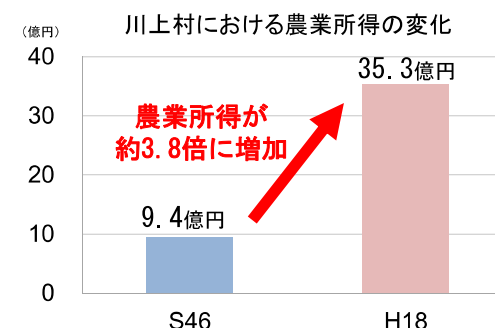


- 東京、名古屋、大阪など大型消費地の中間地点という立地条件を活かし、**市況情報を各農家と共有し、最適な市場へ出荷できる体制を整備**(JAが市況情報をデータベース化し、**リアルタイムで配信**)。
- 台湾や香港への**独自の輸出ルートを開拓**。海外にも農産物を販売。
- プロ野球やサッカーの試合会場での農産物配布や、テレビ局への企画の持込、各地での物産展の開催など、**広くPR活動を実施**。

加工・流通

日本屈指のレタス産地に発展

- **村をあげた、生産・出荷・流通体制の構築**により、日本屈指のレタス産地に発展。川上村の**農家の約半数は、経営耕地規模が3ha以上**と、経営規模は拡大しており、後継者も育っている。
- 近年では、**1戸当たりの販売額が2,500万円を超える**など、収益性の高い農業が展開されている。



【出典：農林業市町村別統計書、市町村別推計統計表】